

こうのす民報

議会報告版

2019年1・2月号 第400号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団
竹田えつ子 すわみつえ
 ☎542-7072 ☎507-4151
 FAX542-7101 FAX596-9440



政治を変えて 希望が持てる年に

本年もよろしくお願いたします

日頃からの皆さんの温かいご支援に感謝申し上げます。新年のご挨拶をいたします。市民の皆さんが納められた税金を「くらし・福祉・教育最優先の予算」に回し、安心して子を産み育て、仕事をすることができ、年をとっても不安なく暮らせるようにしていくことが大切だと思います。

2019年度の国の政府予算案は「消費税増税でくらしと経済を破たんさせ、大軍拡で憲法と平和を壊す」ものといわざるを得ません。国の政治のあり方を変えようと同時に、最も身近な市政を市民が主人公となるよう、市民の声の代弁者として力を尽くす決意です。

本年もどうぞ宜しくお願致します。



市議会議員 **すわみつえ**



市議会議員 **竹田えつ子**

2019年をいかがお迎えでしょうか。安倍政権のもとで、100兆円に膨らんだ新年度予算案、消費税の10%増税、憲法改正の明言などは、皆さんに不安をもたらしているのではないのでしょうか。こうした政治の防波堤となつて「住民の福祉の増進に努め、くらしを応援する」のが自治体の大事な役割です。子育ても老後も安心な鴻巣市になるよう力を尽くすとともに、安倍政治をストップさせるために頑張つて行きます。

2019年は、統一地方選挙・参議院選挙そして埼玉県知事選挙の年です。政治を変えて、誰もが希望がもてる社会実現のためにご一緒に力を合わせていきましょう。



党県民運動委員長 **伊藤 岳**

あたり前の政治を取り戻そう

2019年、新年おめでとうございます。昨年は、国会を愚弄する暴挙が吹き荒れました。ちまたでは「偽造、捏造、安倍晋三」と言われているようですが、的を射ています。

「この政権に、憲法にまで手をつけさせるわけにはいかない」「あたり前の政治を取り戻す!」・私は、この決意新たに新年を迎えました。

外国人労働者・安上がりの労働力の受け入れ拡大、命に関わる水道事業の民間開放は、経団連の「骨太の方針」で要求されてきたもの。政党助成金を受け取り、一方で企業献金も受け取る政治の害悪ではないでしょうか。

共産党と伊藤岳の出番、全力で走ります。

国保制度の抜本的改善を求めて意見書提出

賛成少数で否決に

「国庫負担増額など国民健康保険制度の抜本的な改善を求める意見書」を議員提出議案として、日本共産党議員団が中心となつて提出しました。

国民健康保険は、協会けんぽの1・3倍、組合健保の1・7倍と高い保険税です。全国知事会をはじめ地方団体は、政府に対し定率国庫負担の増額をはじめ、公費を1兆円投入して、協会けんぽ並みの国保税にすることを求めています。

このように地方団体が要望している内容であるにも関わらず、鴻巣市議会では、竹田えつ子・すわみつえ・菅野博子・加藤久子議員の賛成少数で、否決されてしまいました。

「消費税増税中止」請願を不採択

桶川・北本民主商工会より「消費税増税を中止して5%にもどし、生活費非課税、応能負担の税制を求める請願」が出され、日本共産党議員2名が紹介議員になりました。

採決の結果、竹田えつ子・すわみつえ・菅野博子・加藤久子議員の賛成少数で、残念ながら不採択となりました。



市役所の行政組織を また変更

5期目の市政を任された市長が掲げたマニフェストを実現するために2019年4月1日に組織改正を行うと提案説明がありました。

新たに「市長政策室」を設け、また、社会福祉という概念から地域福祉という概念に切り替える組織改正に対し、地方自治で行うべきは「福祉の増進」であること指摘し反対をしました。

神映と放課後児童クラブを 新たに指定管理者制度に

「公設公営」で運営してきた神明放課後児童クラブと中央放課後児童クラブを、2019年4月1日より、新たに指定管理者制度で「公設民営」にするという議案が出されました。市が行うべきは民営化ではなく、直接雇用の支援員が子どもたちの発達や成長に十分目が向けられる保育ができるようにすることであり、支援員の方々の雇用の安定を脅かすようなことはすべきではないと指摘し反対をしました。

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務局
 法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

本音がわかる
明日が見える

しんぶん 赤旗

●日刊紙/月3,497円
 ●日曜版/月930円



憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...
 「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。



竹田えつ子議員

子育て応援、防災対策の強化を求める

学校給食の無償化、食材値上げ分の補助を

問 憲法第26条―2は、「義務教育は、これを無償とする」と明記しています。学校給食は教育の一環です。無償化について検討することは。

答 学校給食の経費については、学校給食法に規定されており、食材費は保護者負担としています。無償化は考えておりません。

問 学校給食費を2019年4月から、小学校では4100円を400円、中学校では4600円を600円値上げする案が検討されています。給食費の値上げは、子育て応援に逆行すると思います。せめて食材の値上げ分(3800万円)は市が補助することを求めます。

答 改定により増額になった場合でも、食材の値上げ分を市が補助する考えはありません。



子ども医療費は18歳まで通院費も無料に

問 近隣市では今、子ども医療費は18歳まで入院通院費とも無料になっています。本市でも、18歳まで通院費も無料にすることは。

答 2020年4月実施に向けて準備を進めています。

問 子ども医療費、重度心身障がい者医療など他市の医療機関でも窓口負担なしにすることを求めます。

答 窓口負担なし(現物給付方式)は、安心して医療を受けられる仕組みであることは認識しています。国では、受診する患者が増加し医療費が増えるとして、国保への減額措置を講じています。現時点では動向を注視していきます。

住宅リフォーム助成制度の拡充を

問 10月5日鴻巣市のホームページを見ると、「今年度の補助金申請は受付を終了

いたしました。」のお知らせが出ていました。まだ半年であるにも関わらず大変好評であることがわかります。この制度の趣旨からも増額を求めます。

答 事業の効果として、住環境の向上と市内産業の経済波及効果が大きいことは十分認識しています。予算の範囲内でも多くの市民の方々に活用していただければ、まずは事業の継続について検討していきます。

ブロック塀改修もリフォーム補助対象に

問 桶川市では、大阪北部地震で民間のブロック塀の倒壊で犠牲者が出たことを受けて、ブロック塀についても住宅リフォームの対象とし、9月議会で400万円の追加補正をしたそうです。こうした例にならない本市でも実施することを求めます。

答 本市の住宅リフォーム資金補助金交付要綱では、住宅の内装の修繕、住宅の増築・改修工事を対象としており、補助対象の変更は考えていません。

他に、公文書の取りあつかい、鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業、緊急通報システムの改善について質問しました。



すわみつえ議員

通学地域、通学路の安全は住民・保護者の声を聞いて

鴻巣市へ新病院なるか整備基金の活用は?

問 第7次埼玉県東地域保健医療計画に、社会医療法人壮幸会が箕田地区に、急性期病床30床、回復期リハビリテーション病床60床、地域包括ケア病床30床の計120床の病院新設を応募しました。2019年1月開催の埼玉県医療審議会で審議予定ですが実現した場合、積み立てている4億481万円の地域医療体制整備基金は活用するのですか。

答 地域医療体制整備基金の運用にあたり、念頭にしますのは、第2次救急、入院のできる小児科、分娩のできる産婦人科を備えた病院ですが、基金条例第1条で、地域医療の課題に対応するための経費に充てることも規定しているため、今後必要に応じ活用方法を検討します。

「笠原小なくすな」の住民の声を聞いて

問 「鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置について」は、この2年間にわたり質問を重ねてきて、「小規模校ならではのよさがあること」、また、「行政が一方的に進めることなく、地域住民や保護者の意見をしっかりと受けとめて進めていくこと」を確認してきました。

教育委員会から出された、11月29日、30日の笠原小学校の保護者との意見交換会の文書は、突然にしかも文面は一方的な内容と不安をおおる文面でした。笠原地区の住民を含めた説明会の計画があるのか伺います。

答 笠原小学校の通学区域の弾力化について、鴻巣市立小・中学校通学区域審議会に諮問し、審議の過程の中で保護者や地域の方々との意見交換の時期なども議論していきます。

危険な通学路から児童の安全を守って

問 北新宿から吹上小学校に通う通学路で元荒川にかかる洲崎橋と続く道路が狭く、登校時は特に車の往来も多く危険な箇所です。地域の方々から「洲崎橋に歩道橋を付けて車と歩行者を分けられないか」とご意見があり、現地を調査しました。

7時15分から7時20分の5分間で、各登校班の100人を超える児童が橋を渡り、その間、車が7台行き交いました。子どものいのちと安全を最優先とするならば、免許センター脇に造る橋よりも洲崎橋に歩道橋を優先すべきです。市の見解を求めます。

答 現段階では洲崎橋に歩道橋をかける計画はありません。北新宿の区画整理事業の進捗状況を見ながら今後の検討課題と捉えていきます。

